

株主優待のご案内

1,000株以上ご所有の株主の皆さまに株主優待品を贈呈いたしております。

ポイント1
年2回の贈呈
6月末現在の株主の皆さま
▶ 9月頃送付
12月末現在の株主の皆さま
▶ 3月頃送付

ポイント2
当社米穀製品を
お届けします。


6月末現在の株主さま	1,000株以上2,000株未満	2,000円相当の米穀製品
	2,000株以上	4,000円相当の米穀製品等※
12月末現在の株主さま	1,000株以上	3,000円相当の米穀製品

※うち2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

おコメを使った いなりずし レシピ

絹さや、にんじん、青ネギの色味鮮やかな3種いなり。行楽シーズンのお弁当にもよく合います。

材料 12個分

米…………… 1.5カップ	C/油揚げの煮汁
油揚げ…………… 6枚	だし汁…………… 150cc
青ネギ…………… 適量	砂糖…………… 大さじ3
絹さや…………… 適量	酒・みりん…………… 大さじ1
にんじん…………… 適量	しょうゆ…………… 大さじ1
A	酢…………… 少々
水…………… 1.5カップ	D/具材-1
(水加減はお好みで調整する)	ちりめんじゃこ…………… 10g
酒…………… 大さじ1	ごま高菜…………… 30g
昆布…………… 5cm角	白ごま…………… 小さじ1
B/合わせ酢	E/具材-2
酢…………… 大さじ2	鶏そぼろ…………… 30g
砂糖…………… 大さじ2	いり卵…………… 30g
塩…………… 小さじ1/2弱	F/具材-3
	ひじきの煮物…………… 30g

■ 調理時間20分 ■ カロリー：125kcal/1個

- 1 あらかじめ、E・Fを用意しておく。(鶏そぼろとひじきの煮物は市販のものでも可)
- 2 米は洗いAで炊く。
- 3 油揚げは1分程度熱湯で茹で油抜きをして、横半分に切り、袋状に開く。
- 4 鍋にBとCを入れ落とし蓋をし、煮詰めたらザルにあげて汁気を切っておく。
- 5 2でご飯が炊けたら昆布をはずし、Bの合わせ酢をかけ、すし飯をつくる。すし飯を3等分して各D・E・Fの材料を混ぜ合わせる。1種類につき4個握り、4のいなりに詰めて上に青ネギ・絹さや・にんじんをトッピングする。



第64期 中間株主通信

平成23年1月1日 ▶ 平成23年6月30日

トッピングインタビュー

安全・安心な「食」の供給に注力

木徳神糧株式会社

JASDAQ

証券コード：2700

大震災による被害を乗り越え、安全・安心な「食」の供給に全力を注いでまいります。



代表取締役社長 平山 惇

Q 当上半期の営業状況についてお聞かせください。

A 米穀事業における利益改善効果が大きく、仙台工場の被災による特別損失をほぼカバーできました。

主力の米穀事業では、販売数量を確保しましたが価格が低迷したため、減収を余儀なくされました。しかし、スケールメリットと広域展開によるリスク分散を図り、需給を睨みながら平成22年産米を効率的に仕入れた結果、収益の向上に寄与しました。また、飼料事業は国産品・輸入品ともに好調で、精米工程等から出る**糟糠類**(→P.3)の活用も進み、売上・利益計画をクリアしました。一方、鶏卵事業と食品事業は、震災による供給面の支障もあり、低調に推移しました。

3月11日に発生した東日本大震災により、当社では宮城県仙台市の東北支店・仙台工場が津波に襲われて全壊し、誠に残念なことに従業員2名が亡くなりました。現在、同工場の喪失による生産体制面のカバーは、当社他工場と外部委託で対応しています。

震災による米穀市場への影響について述べますと、震災前には平成21年産米が余り気味だったことにより、平成22年産米が当初安値で推移していましたが、震災後は人気銘柄米を中心に卸会社間の売買価格が高騰しました。平成23年産米については、放射能への懸念がありますが、収穫前に国による検査が実施される等の措置が取られており、個人的には楽観的な見通しを持っています。

当上半期の連結業績は、売上が減収となったものの、前述の通り米穀事業における仕入施策の奏功などにより、営業利益・経常利益は増益となりました。また、震災の被害等による特別損失1,278百万円を計上し、最終的には111百万円の四半期純損失となりました。(P.1グラフ参照)

下半期からの動きとしては、国内工場の再編について検討します。営業面では、今まで比較的弱かった中京地区を強化すべく、昨年設立した木徳東海を活かして、一気に攻勢をかけていきます。

Q 近年進めている成長戦略の進捗をご説明願います。

A 2つの高付加価値商品を新たに開発・投入。海外市場への展開も着実に進めています。

当社では企画開発事業部を設置し、新商品・新分野の開拓を進めていますが、この上半期は2つの成果がありま

した。1つは、国産米を主原料とした飲料「ライスミルク」です。もう1つはカロリーを25%カットした**機能性食品**(→P.3)「おこめにすすもう 毎日ごはん」です。デンプン・こんにやく加工品と異なり、コメ本来の味を楽しみながらダイエットできます。今後販売ルートを広げて積極的に営業展開していく考えです。(P.5記事参照)

一方、海外市場への展開としては、ベトナム子会社アンジメックス・キトクを中心に、ジャポニカ米を生産し、東南アジアや欧州に販売する「三国間貿易」を進めています。従来はベトナム南部のメコンデルタが産地でしたが、今年から試験的に北部のハノイでも生産を開始しました。**香り米**(→P.3)についても、タイ産だけでなくベトナム産米を扱い、第三国への販売を開始しました。

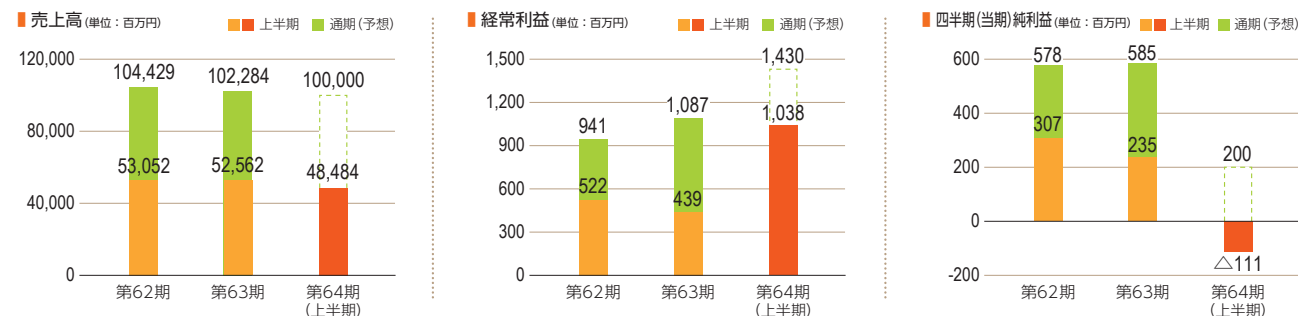
また今年2月には、中国・遼寧省の大連市に木徳(大連)貿易という合併会社を設立しました。日本から現地進出した量販店や外食産業にジャポニカ米を販売する取り組みを、今期末から来期にかけて本格稼働させていきます。

Q 72年ぶりのコメ先物取引について、どうお考えですか？

A 投機目的の先物取引は行わず、あくまでリスクヘッジマーケットとして活用していく方針です。

8月8日、コメの先物取引が東京穀物商品取引所と関西

業績の推移(連結) [Consolidated Business Results]



Pick Up! コメの先物取引

- 江戸時代に大阪の「堂島米会所」で始まったのが最初で、戦前の経済統制により1939年に廃止
- コメの将来価格を予想して売買し、現物の受け渡しか、反対売買で決済
- 客観的な指標価格の形成が期待される反面、投機資金の流入による価格乱高下への懸念も

大阪堂島米穀取引所 (画像: 国立国会図書館蔵)

商品取引所で72年ぶりに復活しました。定期取引期限を6か月とする2年間の試験上場であり、その推移を踏まえて市場の改善に向けたさまざまな議論が、生産者・流通業者・農水省との間で交わされるものと思われます。

当社の基本的なスタンスとしては、投機目的の先物取引を行わない方針としており、あくまでリスクヘッジマーケットとしての活用に限定する方針です。相場の乱高下が最も危惧されるものであり、むしろ価格変動に対して抑制的に機能するマーケットとなることを期待しています。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。
A 今後とも安全・安心な「食」の安定供給を維持し、社会に貢献してまいります。

この度の震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

前述の通り当社は、震災により東北支店・仙台工場に壊滅的な被害を受け、株主の皆様ならびに取引先の皆様に多大なご心配をおかけしました。その後、全社員が一丸となって努力した結果、当第2四半期末時点で被災による損失額のカバーをほぼ果たしました。これを受け、今回の中間配当につきましては、予定通り1株当たり3円を実施させていただきました。

当社は、今後とも安全・安心な「食」の安定供給を維持し、社会に貢献してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



用語解説

糖糠類(そうこうい)

「コメぬか」「ふすま」など、コメや小麦の精白工程から生まれる副産物で、畜産飼料や菌床培地、有機肥料などの原料として利用される。精米工程から生産される「コメぬか」の量は、精米量全体の約1割。

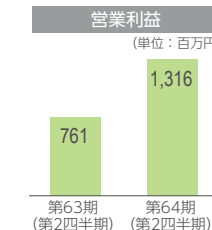
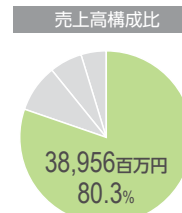
機能性食品

科学的根拠に基づき、健康増進機能(機能性)が認められている食品。消費者庁では「食品の機能性評価モデル事業」を民間企業に委託し、食品の機能性表示を認めるための仕組みづくりに取り組んでいる。

香り米

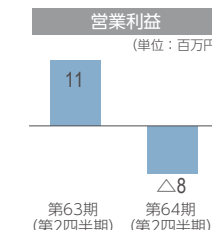
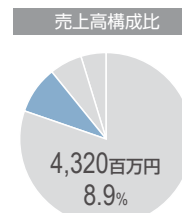
自然の芳香を持つコメの高級品種。インドや中国では数千年も前から栽培されており、日本でも古くから祭りや接待用の高級なコメとされてきた。「カオ・ホン・マリ(ジャズミンライス)」と呼ばれるタイ産のものが有名。

米穀事業



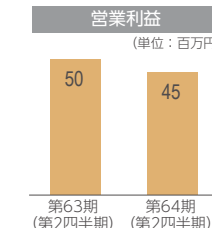
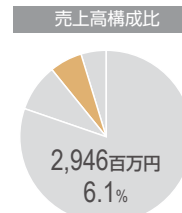
平成22年産米の価格は平成21年産米より安値で推移したこと等により、売上高は前年同期比4,407百万円の減収となりました。しかしながら、仕入施策の効果、販売数量の増加による利益の拡大、製造体制の見直しによる利益率の改善等が奏功し、営業利益は前年同期比554百万円の増益となりました。

食品事業



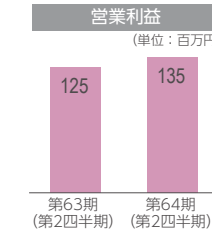
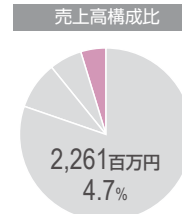
米粉の新規需要の増加や低たんぱく米等機能性食品の増加等により、売上高は前年同期比110百万円の増収となりました。消費低迷による販売不振が続くなか、配合飼料価格や原材料価格が高騰したため、鶏肉販売及び惣菜販売の採算が悪化したことにより、8百万円の営業損失となりました(前年同期は11百万円の利益)。

鶏卵事業



鶏卵相場は前年同期より高値で推移しておりますが、デフレの影響で消費は付加価値の高い特殊卵から価格の安い一般卵にシフトしたこと、価格競争の激化で利益率が低下したこと等により、売上高は前年同期比6百万円の減収、営業利益は前年同期比5百万円の減益となりました。

飼料事業



飼料相場は堅調に推移しているなか、牧草、穀類及び糖糠類を中心に販売数量の拡大に注力したことにより、売上高は前年同期比225百万円の増収、営業利益は前年同期比10百万円の増益となりました。

木徳神糧がお届けする
**新商品の
 ご案内**

当社ではお客さまにご満足いただけるよう、高付加価値商品の開発を進めております。
 当上半期には新たに下記の2商品が発売しました。

● **ライスミルク**

国産のおコメを主原料とした飲料です。おコメの主成分であるでんぷんを「こうじを使う伝統的な方法」により、糖に分解。糖の自然の甘さを活かし、自然派ドリンクに仕上げました。人工甘味料や香料はもちろんのこと、牛乳や砂糖も一切使用していません。

特長1 忙しい方の食事の代わりに

ライスミルク 1本(200ml)当たりのエネルギーは約140kcal。小ぶりのおにぎり 1個分のエネルギーを簡単にすばやく補給できます。

特長2 仕事や勉強、普段の生活に

ブドウ糖は体の維持、活動に必要な糖分。ライスミルク 1本分で、脳が1日当たり必要とする糖の量の約3倍のブドウ糖を摂取することができます。

特長3 高齢者の方の体力補強に

高齢者の方は食事量の減少等により、エネルギーを十分に摂取できていない場合があります。手軽に飲めるライスミルクは、栄養管理にも最適です。



● **おこめにすすもう 毎日ごはん**

毎日食べるご飯だから、美味しくカロリーを減らしたい。LCR(Low Calorie Rice)は特許技術でご飯のカロリーをカットしました。「おこめにすすもう 毎日ごはん」では、一般的なご飯(カロリー168kcal/100g)に比べ、カロリー約25%カットの実現に成功しています。

特長1 水分と食物繊維でカロリーカット

カロリーカットのヒミツは含水量にあります。LCRは特許技術で含水量が高くてもしっかり炊きあがります。ご飯の含水量を高めることで、普通米に比べてカロリーを抑えることができます。

特長2 おコメ100%

でんぷん・こんにやく加工品と異なり、コメ本来の味を楽しむことができます。



食物繊維入り

特
集

130年のあゆみ

History of 130 years

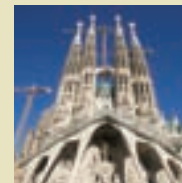
連載第1回 社名の由来

◆木村徳兵衛商店として開業



創業者木村徳兵衛
 (明治17年21歳当時)

木徳神糧の創業は、1882(明治15)年の米穀商「木村徳兵衛商店」開業にさかのぼります。19歳という若さで創業者となったのが、2代目木村徳兵衛です。明治15年という、日本では、日本銀行の開業や早稲田大学(当時は東京専門学校)の創立などがあり、海外では、スペインで建築家ガウディによる、かの有名な「サグラダ・ファミリア教会」の建設が開始された年です。「木徳神糧はサグラダ・ファミリア教会と同じ年!」という覚えやすい(?)です。サグラダ・ファミリア教会はまだ建設中ですが、木徳神糧もともに成長を続けています。



サグラダ・ファミリア教会

◆木徳株式会社の誕生

当時、社員が会社名を名乗る時、「木徳でございます」または「木徳商店です」というように省略した呼称が通常化し、業界でも「木徳」が通称となっていました。なかなか正式な社名である「木村徳兵衛商店」は言いづらかったのだと思われます。

木 徳 株 式 会 社

当初の社名ロゴ



東京オリンピック聖火リレー起点
 (宮崎市・平和台公園)

1963(昭和38)年、当時の社長 3代目木村徳兵衛は、この古風なイメージの社名一新を決断し、社内で新社名の公募を行い、翌1964(昭和39)年の1月1日、「木徳株式会社」が誕生しました。

この年は、東海道新幹線の開業、東京オリンピック開催など、日本経済の高度成長期の真っただ中にあり、まさに新たなスタートとしてふさわしいタイミングでした。

◆木徳神糧株式会社へ

そして21世紀の新たなスタートを控えた2000(平成12)年、「木徳株式会社」と「神糧物産株式会社」が合併し、両社の社名を合わせた現在の社名となりました。



本社外観(東京都江戸川区)

ロゴマークについて

人が生きていくエネルギー源となる「米」。その「米」が人と人、人と社会を結び、ネットワークを形成していく…。このマークには、コメの供給を社会的使命とする木徳神糧が、消費者、取引先、株主、従業員など、あらゆるステークホルダーと良好な関係を築き上げ、限らない発展を遂げていくという、強い決意がこめられています。



ホームページでも連載しています!!

当社ホームページでは、スペシャルコンテンツとして当社130年の歩みにつきまして連載しております。併せてご覧ください。



<http://www.kitoku-shinryo.co.jp>

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 平成23年6月30日現在	前期末 平成22年12月31日現在
資産の部		
流動資産	15,613	17,495
固定資産	7,400	8,228
有形固定資産	5,781	6,603
無形固定資産	79	87
投資その他の資産	1,538	1,538
資産合計	23,014	25,724
負債の部		
流動負債	14,893	16,981
固定負債	2,566	2,990
負債合計	17,460	19,971
純資産の部		
株主資本	5,268	5,414
資本金	529	529
資本剰余金	331	331
利益剰余金	4,426	4,572
自己株式	△19	△19
評価・換算差額等	△117	△101
少数株主持分	403	440
純資産合計	5,554	5,752
負債純資産合計	23,014	25,724

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 自平成23年1月1日現在 至平成23年6月30日現在	前第2四半期 自平成22年1月1日現在 至平成22年6月30日現在
売上高	48,484	52,562
売上原価	44,628	49,168
売上総利益	3,855	3,393
販売費及び一般管理費	2,808	2,894
営業利益	1,047	499
営業外収益	106	74
営業外費用	115	134
経常利益	1,038	439
特別利益	258	5
特別損失	1,278	21
税金等調整前四半期純利益	18	422
法人税、住民税及び事業税	108	129
法人税等調整額	41	53
少数株主損益調整前四半期純損失	△132	—
少数株主利益又は少数株主損失	△20	3
四半期純利益又は四半期純損失	△111	235

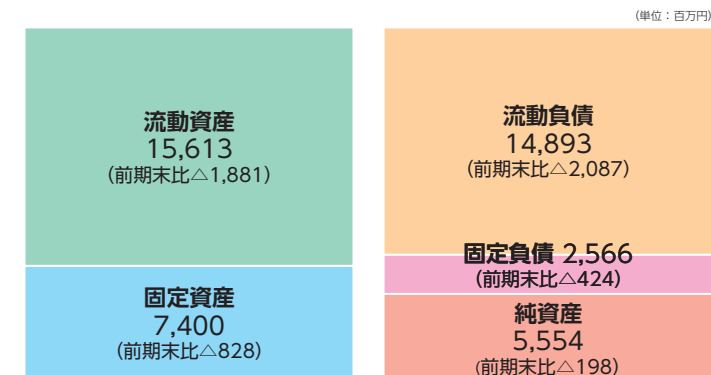
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 自平成23年1月1日現在 至平成23年6月30日現在	前第2四半期 自平成22年1月1日現在 至平成22年6月30日現在
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,022	2,975
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59	△225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,054	△2,659
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	898	90
現金及び現金同等物の期首残高	1,901	2,035
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,799	2,126

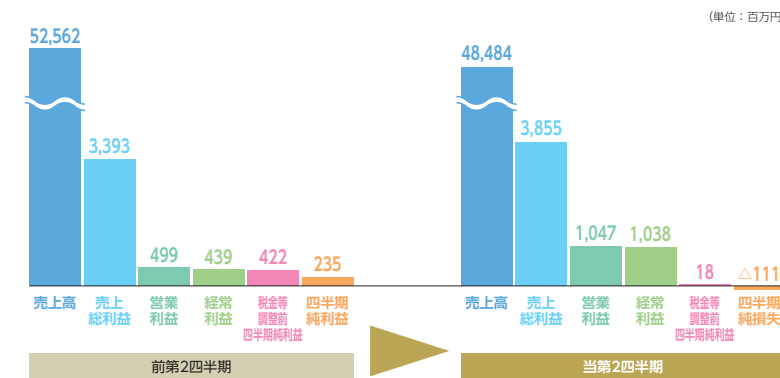
▶ 連結貸借対照表のポイント

流動資産：受取手形及び売掛金が前期末比1,490百万円減少等
 固定資産：有形固定資産が前期末比821百万円減少等
 流動負債：支払手形及び買掛金が前期末比1,885百万円減少等
 固定負債：長期借入金が前期末比339百万円減少等



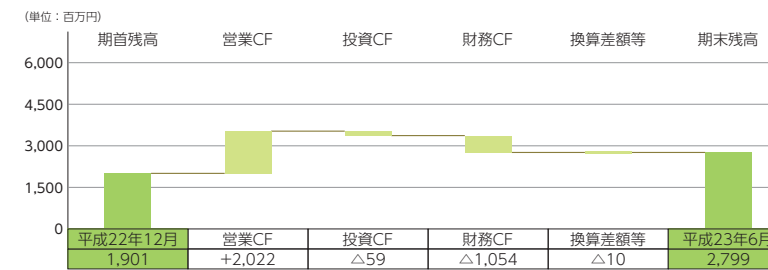
▶ 連結損益計算書のポイント

売上高：販売数量は増加したものの平成22年産米の価格の安値推移により前年同期比4,077百万円減少
 営業利益：仕入施策の効果、販売数量増により前年同期比547百万円増加
 四半期純損失：東日本大震災による被害等により特別損失1,278百万円を計上



▶ 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるCF：仕入債務の減少1,884百万円に対し売上債権の減少1,488百万円、災害損失917百万円等
 投資活動によるCF：設備投資額の増加による支出51百万円等
 財務活動によるCF：長期借入金の減少516百万円、社債の減少260百万円等



Special Feature

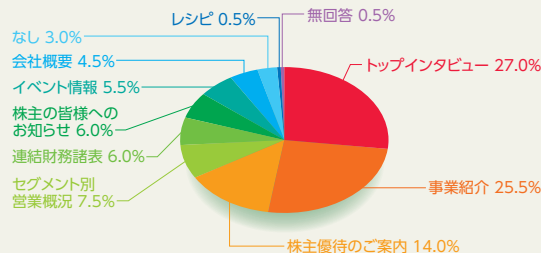
木徳神糧のココが知りたい Q&A

当社では、株主の皆さまのご意見・ご要望をお聞きし、今後の事業活動に活かしたいと考え、第63期株主通信をお届けした全ての株主の皆さまを対象に葉書形式のアンケートを実施いたしました。ご協力いただいた皆さまに改めてお礼申し上げますとともに、その結果を以下の通りご報告申し上げます。

調査概要

調査対象：全株主1,598名
調査期間：平成23年3月～5月
有効回答数：200件（返送率：12.5%）

Q 今回(第63期)の株主通信の中で最も興味を惹かれたコンテンツはどれですか？

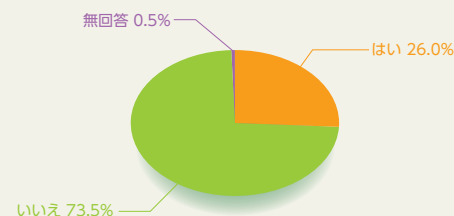


「トップインタビュー」「事業紹介」とお答えいただいた株主の方が合わせて約50%となりました。会社の今後に関するご意見もいただいております。当事業の将来に皆さまがご興味をお持ちであるということを確認できました。今後も皆さまのご期待にお応えできるよう、企業価値拡大に取り組んでまいります。

Q その他、当社に対するご意見・ご要望があればお聞かせください。

自由記入欄では前回に引き続き、株主優待に関して多くのご意見・ご感想をいただきました。今回の株主優待は東日本大震災直後に発送したこともあり、株主の皆さまから感謝の御言葉を数多くいただきました。改めておコメの大切さを感じるとともに、今後も安定的に安全なおコメを皆さまにお届けできるよう努めてまいります。

Q 当社のホームページをご覧になりましたか？



多くの株主の方が当社のホームページをご覧になっていないことがわかりました。「パソコンがない」という回答が理由として最も多かったため、ホームページでの連載企画「130年のあゆみ」を今回の株主通信にも掲載させていただきました(P.6ご参照)。今後も株主の皆さまの状況を考慮の上、最適な情報発信を検討してまいります。

会社概要(平成23年6月30日現在) ● Corporate Data

■ 会社概要

商号 木徳神糧株式会社

事業内容 米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業

本店所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル2階

本社所在地 〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2-14-6 NFビル
TEL：03-5636-1501(代表)
FAX：03-5636-1601

資本金 5億2,950万円

従業員数 169名(臨時雇用者104名を除く)

■ 役員

取締役・監査役

取締役会長 木村 良
代表取締役社長 平山 惇
取締役副社長 松山 正吉
専務取締役 山本 幸雄
取締役常務執行役員 三澤 正博
取締役常務執行役員 水野 正夫
取締役常務執行役員 伊豫田直記
取締役常務執行役員 小森 浩資
取締役執行役員 天川 誠
常勤監査役 高橋 健治
監査役* 松下 守
監査役* 杉野 翔子

執行役員

常務執行役員 稲垣 英樹
常務執行役員 鎌田 慶彦
執行役員 竹田 光男
執行役員 佐藤 善雄
執行役員 石田 俊幸
執行役員 大橋 正博

*印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式情報(平成23年6月30日現在) ● Stock Information

■ 株式の状況

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式の総数 8,530,000株
- 株主総数 1,576名
- 大株主

株主名	所有株式数	出資比率
木村謙三	405千株	4.74%
木村 良	344	4.03
濱田精麦株式会社	320	3.75
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.51
黒田康敬	256	3.00
木村友二郎	243	2.84
稲垣辰彌	230	2.69
水野正夫	221	2.59
木徳神糧従業員持株会	209	2.46
株式会社三井住友銀行	186	2.18
農林中央金庫	186	2.18

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

株主メモ ● Shareholders Memo

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月に開催いたします。

基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日

配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払を行うときは6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所

公告方法 日本経済新聞